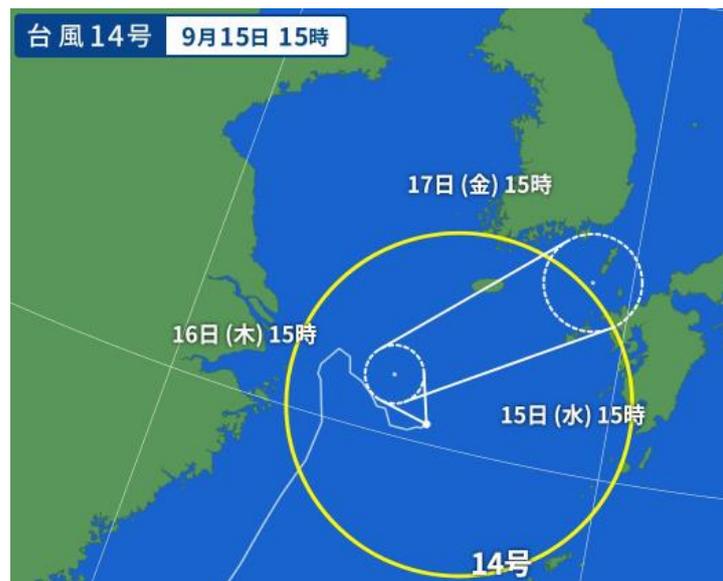


2021年9月15日

台風14号の上海空港、上海港の運用に及ぼす影響について（その2）

台風14号は、15日（水）正午現在、東シナ海にあって、ほとんど停滞しています。中心気圧は996ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は20メートル、最大瞬間風速は30メートルとなっています。今後、16日（木）にかけて東シナ海でほとんど停滞したのち、北東に進み、17日（金）には対馬近海で温帯低気圧に変わる見込みです。



台風14号の影響を受け、中国上海市の一部地域は14日、突風を伴う大雨に見舞われました。安全確保を図るため、避難場所に身を寄せている人は32万9千人に上りました。



上海市浦東新区の緊急避難場所で休む人たち

弊社が輸送会社から入手しました、航空輸送と海上輸送の状況についてまとめましたのでご報告致します。

1. 航空輸送

(1) 浦東空港：上海国際空港の状況

9月13日午後から14日午前中まで、平常時と比較して10便以上のフライトがキャンセルとなりました。この影響で二つの空港ターミナルではフライトを待つ貨物が更に滞留する事態となりました。

14日午後2時以降、空港のオペレーションが再開され、ターミナルから航空機への貨物の搭載が始まりました。

(2) 運送会社の上海倉庫の対応

運送会社の上海倉庫でも12日以降に搬入された貨物の滞留が発生していますが、上海空港だけでなく、中国国内の他空港を活用した代替ルートによる貨物輸送に振りかえ作業中です。

(3) 日本発上海着の航空貨物取り扱いについて

コロナの影響によるフライト数の制限とあわせて、台風によるフライトキャンセルにより、更なる混乱を生じています。

2. 海上輸送（上海港の状況）

現時点では明日16日再開を見込んでいます。

3. 今後の見通し

10月には国慶節の7連休を控え、輸送需要の増加が見込まれますので、本件に関連する案件のお客様には、個別に営業担当者から事前にご相談させていただきます。

新しい情報を入手次第ご報告申し上げます。

以上